

【幼稚園用】

令和3年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度(評価)	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

園名	伊万里市立黒川幼稚園
-----------	------------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・本園の教育活動に対して概ね好意的な評価だった。また、教育目標の実現に向けて、幼児理解と評価について心に留めながら、園児の指導を行うことができた。 ・来年度は園児数が減少するが引き続き異年齢児との交流を行い、子ども達がわくわくするような遊びを展開していきたい。 ・来年度もコロナ感染拡大防止のため、マスク着用、手洗い、消毒の励行を常時行い、保護者とも連携していきたいと思う。
----------------------	---

2 教育目標	「豊かな心を持ち、いきいきと活動する子どもを育成する」
---------------	-----------------------------

3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> (1) 個に応じた支援の計画を実践一人ひとりのねらいを立て、支援の計画実践を行う。 (2) 豊かな心の醸成異年齢縦割り保育、家読の推進を図り、豊かな心の育成を目指す。 (3) 幼保小連携子ども園(保育園)、小学校との交流を行い、幼保小の連携を図る。
-------------------	--

4 重点取組内容・成果指標 中間評価(任意) 5 最終評価

(1) 共通評価項目				中間評価(任意)		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	具体的目標	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●健康・体づくり	●「運動習慣の改善や定着化」 ●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	○遊びを通して、遊ぶ楽しさや触れ合う喜び、気づく面白さなどを体験させ、体力づくりにつなげる。 ○個に応じた給食指導の徹底(少量完食)	・友達と遊びながら、気づいたり工夫したり、試したりして遊びを発展させる工夫 ・少量完食を通して食べる喜びを味わうようにする。 ・親子味噌づくり、季節野菜の栽培、収穫等により食の大切さを理解していく。	B	・登園したらほとんどの子どもが戸外に出て遊ぶ。砂遊びでは、水を流したりトンネルを作ったりしながら、友達との関わりを深めて遊んだ。 ・特に5歳児は、廃材に興味を持ち、回るハンドル・動く自動車などの制作を通して工夫する姿が見られた。	A	・戸外で思い切り体を動かして遊んだ。また、地域に出て自然の中での散歩を楽しむことができた。 ・ライン引きを出して、走る道、ドッジボールの円などを自分たちで引いて自主的に遊びを進めるようになった。	A	・戸外で遊ぶことが増え、体力もつき遅く育っていると思う。 ・異年齢児との交流で多くのことを学んでいる。	福本・小嶋
●幼・保・小連携	○小学校や子ども園(保育園)との連携の充実及び強化	○隣接した子ども園や小学校との交流を深め、小学校へへの接続を滑らかにする。	・黒川小学校やたんぼほども園との共通理解のもと年間計画に基づいた計画的な交流を実施する。 ・日常的な交流の促進 ・職員同士の情報交換	B	・5月に小学校の5年生の担任と、年間交流計画を立てた。 ・6月下旬『5年生との交流会』を行う。ゲーム、学校探検、キュウリ収穫などを行った。実施前に教師間で、子ども達同士の顔合わせの事前話し合いを2回実施。 ・保育園との交流コロナの未定。	B	・年度初めに小学校と年間計画を作成したことで、スムーズに交流を行うことができた。 ・長縄跳び大会などの応援のため、小学校に気軽にいくことができた。 ・小学校から、米やキュウリの販売に来園するなど、日頃からの交流を行った。	B	・コロナ禍のため、小学校・保育園との交流が難しかったと思う。 ・具体的目標に回数が記載されていないので判断しにくい。 ・小学校と絵本の読み聞かせの交流をしたらどうだろうか。	小嶋
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	○業務の効率化を推進する。	○会議や研究会の効率化を図り短時間で終わるように努める。	・会議等の終了時間の設定や資料の事前配布 ・行事の前に削減できるものを検討する。 ・共有ホルダーを利用して、データの共有化を図り効率的な業務遂行に努める。	C	・バス旅行は遠足。保育参観と育友会作業は時間短縮で実施。 ・行事がスムーズに実施できるように、事前に短時間の打ち合わせを行った。 ・行事について、今一度見直しを削減していきたい。	B	・資料の事前配布と終了時間の設定ができないうちがあった。 ・日誌記入を交代で行い、時間を確保したこと短時間で終わるようになった。	B	・会議の回数が不明なので判断しにくい。 ・より一層業務効率化に努めてほしい。	福本

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	具体的目標	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	

●...県共通 ○...園独自

5 総合評価・次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの結果からは、園の教育活動に対し概ね好意的な評価をいただいた。 ・職員は個に応じ、卒園までに育てたい10の姿に照らし、幼児理解と評価を行った。 ・交代で給食後、事務整理のための時間を確保し、業務の効率化に取り組むことができた。 ・感染症防止の対応について、個々の考え方が保護者によっては相違がみられたが、感染を防ぎ子供の生命を守るために今後も保護者との連携を図ってきたい。 ・会議等の回数が記入していなかったため、評価しにくいという指摘があった。来年度は具体的な取り組みとして数値を記入するようにしたい。目標を明確にすることで、評価者も分かりやすくしていくようにしたい。
-----------------------	---